産科婦人科

副院長
診療科長
髙倉　賢二

専門医資格等　日本産科婦人科内視鏡学会功労会員
日本内分泌学会　評議員
日本受精着床学会　評議員
京都大学博士（医学）
京都大学医学部　非常勤講師
京都大学医学部　臨床教授
関西医科大学　臨床教授

専門分野　婦人科腫瘍
産婦人科手術
内分泌疾患の診断・治療

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部長	北岡　有喜	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本専門医機構産婦人科専門医 京都大学博士（医学） 同志社大学博士（政策科学）	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学	
産科婦人科医長	高尾　由美	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 母体保護法指定医 京都大学博士（医学）	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
産科婦人科医長	山口　　健	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本婦人科腫瘍学会専門医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 臨床研修指導医 京都大学博士（医学）	産婦人科一般	婦人科腫瘍 婦人科手術
医師	宇治田　麻里	日本産科婦人科学会専門医 臨床研修指導医 母体保護法指定医	産婦人科一般	産婦人科一般
医師	江本　郁子	日本産科婦人科学会専門医・女性のヘルスケアアドバイザー 日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児） 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 臨床研修指導医 母体保護法指定医	産婦人科一般	周産期一般
医師	高倉　賢人	日本産科婦人科学会専門医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医	産婦人科一般	
専修医	山村　　幸		産婦人科一般	
専修医	池田　愛紗美		産婦人科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会　総合型専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会　指定修練施設 日本周産期・新生児医学会　母体胎児指定施設 日本産科婦人科内視鏡学会　認定研修施設 臨床遺伝専門医制度　認定研修施設

～産科～

安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腟式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

□ 診療（業務）内容

～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩（出産）は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。
   合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。平成30年度（2018年度）の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は23件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します
   十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します
   充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広く婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います
   女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性（癌）の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腟式手術、小開腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います
   京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会指定修練施設に認定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。また腹腔鏡下悪性腫瘍手術も行っています。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。

5. 更年期からの健康管理を推進します

直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期（50歳前後）からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
23.0名	1333名	6.3日

外来患者数

1日平均患者数
50.5名

主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
366件	111件	171件	90件
腹腔鏡下手術	腟式手術		
100件	175件		

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会の地方会及び分科研究会	小西郁生	婦人科の神経内分泌腫瘍について	第26回がん（神経内分泌腫瘍NEN）医療講演会	京都	2018.6.9	2018.6.9
国内学会の地方会及び分科研究会	小西郁生	卵巣がんー現在と未来	Ovarian Cancerもっと知りたいワークショップ	東京	2018.6.16	2018.6.16
国際学会	Ikuo Konishi	Session"Can we CURE women's cancers with immunotherapies?"	XXII FIGO World Congress 2018	Rio de Janeiro, Brazil	2018.10.16	2018.10.14～2018.10.19
国際学会	Ikuo Konishi	Session"Dilemmas in Gynecologic Oncology"	XXII FIGO World Congress 2018	Rio de Janeiro, Brazil	2018.10.17	2018.10.14～2018.10.19
国際学会	Ikuo Konishi	Video Workshop for Gynecologic Oncology	XXII FIGO World Congress 2018	Rio de Janeiro, Brazil	2018.10.18	2018.10.14～2018.10.19
国内学会の地方会及び分科研究会	小西郁生	産婦人科と男女共同参画ー女性ヘルスケアの向上をー	日本学術会議公開シンポジウム「医療界における男女共同参画の推進と課題」	東京	2018.10.26	2018.10.26
国内学会の全国年次学会	小西郁生	基調講演　わが国が直面する喫緊の課題ー女性ヘルスケアの向上をー	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9～2018.11.10
国内学会の全国年次学会	小西郁生	会長講演　子宮肉腫の最新情報ーモルセレーター後の世界動向ー	第3回日本肉腫学会・日本臨床肉腫学会婦人科会	東京	2018.12.12	2018.12.12～2018.12.13
国内学会の全国年次学会	山村　幸、山口　建、池田愛紗美、松坂　優、高倉　賢人、江本　郁子、川﨑　薫、宇治田　麻里、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	妊娠前母体BMIと妊娠中の体重増加の適正な管理は新生児体重を制御し、分娩時出血量を抑える	第70回日本産科婦人科学会学術講演会	仙台	2018.5.12	2018.5.10～2018.5.13

国内学会の全国年次学会	Ken Yamaguchi, Kaori Kawasaki, Sachi Yamamura, Eri Ogura, Yu Kanzaki, Masahito Takakura, Mari Ujita, Yumi Takao, Kenji Takakura and Ikuo Konishi	Low socioeconomic status is a risk factor for small for gestational age birth in Japan	第70回日本産科婦人科学会学術講演会	仙台	2018.5.11	2018.5.10 ～ 2018.5.13
国内学会の地方会及び分科研究会	飛騨　美希、小西　陽介、川﨑　薫、高倉　賢人、橋本　有紀子、北　誠、日下部　徹、新井　浩司、山口　建、浅原　哲子、三宅　秀彦、高倉　賢二	無侵襲的胎児遺伝学的検査（NIPT）と胎児超音波検査にて性別が不一致だったため不安を　生じた母体に対する遺伝カウンセリングの1例	第45回国立病院臨床検査技師協会近畿支部定期総会学会	神戸	2018.6.16	2018.6.16
国内学会の地方会及び分科研究会	山口　建、山村　幸、池田　愛紗美、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	腹腔鏡下子宮腺筋症核出術後に妊娠中期で子宮破裂した症例	京都子宮内膜症・腺筋症セミナー	京都	2018.6.30	2018.6.30
国内学会の全国年次学会	小西 陽介、飛騨 美希、村瀬 永子、日下部 徹、橋本 有紀子、馬越 洋宜、北 誠、川崎 薫、和田 美智子、山口 建、三宅 秀彦、浅原 哲子、高倉 賢二	保因者診断を主訴に来談したが発症前診断の可能性が考慮されたミトコンドリア病の一例	第42回日本遺伝カウンセリング学会	仙台	2018.6.29	2018.6.28 ～ 2018.7.1
国内学会の全国年次学会	浅原 哲子、小西 陽介、飛騨 美希、日下部 徹、橋本 有紀子、馬越 洋宜、北 誠、川崎 薫、和田美智子、山口 建、三宅 秀彦、高倉 賢二	遺伝カウンセリング普及のための京都医療センター遺伝診療部の試み	第42回日本遺伝カウンセリング学会	仙台	2018.6.29	2018.6.28 ～ 2018.7.1
国内学会の全国年次学会	山口　建, 林　育代, 川﨑　薫, 山村　幸, 小椋　恵利, 松坂　優, 高倉　賢人, 江本　郁子, 宇治田　麻里, 高尾　由美, 高倉　賢二, 小西　郁生	助産制度利用妊婦はsmall for gestational age児のリスク因子となる	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.9	2018.7.8 ～ 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	山村　幸、川﨑　薫、小椋　恵利、松坂　優、髙倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、山口　建、高尾　由美、髙倉　賢二、小西　郁生	子宮頸部円錐切除後妊娠における頸管長と周産期予後の関連についての検討	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.10	2018.7.8 ～ 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	高倉　賢人、江本　郁子、山村　幸、小椋　恵利、松坂　優、川﨑　薫、宇治田　麻里、山口　建、高尾　由美、高倉　賢二	卵管妊娠に対するメトトレキサート全身投与後の次回妊娠転帰について	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.8	2018.7.8 ～ 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	林 育代, 山口 建, 川﨑 薫, 山村 幸, 小椋 恵利, 松坂 優, 高倉 賢人, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	正期産低出生体重児では, 免疫, DNA代謝, 器官形成関連遺伝子が高メチル化される	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.9	2018.7.8 ～ 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	山口　建、山村　幸、池田　愛紗美、小椋　恵利、松坂　優、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、川﨑　薫、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	腹腔鏡下子宮腺筋症核出術後に妊娠中期で胎盤付着部位に子宮破裂を認め、急激に出血した症例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.4	2018.8.2 ～ 2018.8.4
国内学会の全国年次学会	宇治田　麻里、池田　愛紗美、山村　幸、高倉　賢人、江本　郁子、山口　建、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	妊娠中期に施行した腹腔鏡下虫垂切除術の一例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.2	2018.8.2 ～ 2018.8.4
国内学会の全国年次学会	江本　郁子、池田愛紗美、山村　幸、髙倉　賢人、宇治田麻里、山口　建、高尾　由美、髙倉　賢二、小西　郁生	腹腔鏡下卵管切除術後に同側の間質部妊娠を来した3症例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.2	2018.8.2 ～ 2018.8.4
国内学会の全国年次学会	池田　愛紗美、山口　建、山村　幸、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	良性転移性平滑筋腫が疑われた2例	第19回JSAWI	淡路島	2018.9.1	2018.8.31 ～ 2018.9.1

国際学会	Ken Yamaguchi, Michiko Wada, Noriko Satoh-Asahara, Sachi Yamamura, Asami Ikeda, Masahito Takakura, Ikuko Emoto, Mari Ujita, Yumi Takao, Toru Kusakabe, Kenji Takakura, and Ikuo Konishi	Visceral-to-Subcutaneous Adipose Tissue Ratio is a Prognostic Predictor in Type 1 Endometrial Cancer Patients	17th Biennial Meeting of the IGCS & 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都	2018.9.16	2018.9.14 ～ 2018.9.16
国内学会の全国年次学会	和田　美智子、山口　建、山村　幸、池田　愛紗美、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、高尾　由美、日下部　徹、浅原　哲子、高倉　賢二、小西　郁生	内臓脂肪/皮下脂肪比はType1子宮体癌において予後因子となる	17th Biennial Meeting of the IGCS & 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都	2018.9.15	2018.9.14 ～ 2018.9.16
国内学会の全国年次学会	和田　美智子、山口　建、山陰　一、田中　将志、井上　隆之、高倉　賢二、小西　郁生、日下部　徹、浅原　哲子	タイプ1子宮体癌において内臓脂肪/皮下脂肪面積比は予後因子になる	第39回日本肥満学会	神戸	2018.10.8	2018.10.7 ～ 2018.10.8
国内学会の全国年次学会	浅原 哲子、小西 陽介、飛騨 美希、日下部 徹、橋本 有紀子、馬越 洋宜、北 誠、川崎 薫、和田 美智子、山口 建、三宅 秀彦、高倉 賢二	遺伝カウンセリング普及活動～京都医療センター遺伝診療部の試み～	第63回日本人類遺伝学会	横浜	2018.10.12	2018.10.10 ～ 2018.10.13
国内学会の地方会及び分科研究会	山村　幸、山口　建、池田　愛紗美、髙倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、髙尾　由美、髙倉　賢二、小西　郁生	母体の体重管理と分娩時出血に関する後方視的検討	京都産婦人科学会平成30年度学術集会	京都	2018.10.20	2018.10.20
国内学会の地方会及び分科研究会	江本　郁子、池田　愛紗美、山村　幸、高倉　賢人、宇治田　麻里、山口　建、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	同側卵管に反復異所性妊娠を来した症例の検討	第19回京都女性のヘルスケア研究会	京都	2018.10.21	2018.10.21
国内学会の全国年次学会	小西　陽介、飛騨　美希、和田　美智子、橋本　有紀子、北　誠、日下部　徹、荒木　由香里、川崎　薫、山賀　郁、山口　建、荒田　順、山﨑　誠二、浅原　哲子、三宅　秀彦、高倉　賢二、小西　郁生	遺伝診療部の取り組み～HBOCワーキンググループの立ち上げから現在まで～	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会の全国年次学会	高尾　由美、池田　愛紗美、山村　幸、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田麻里、山口　建、高倉　賢二、小西　郁生、坂根　直樹	原発性腹膜癌19症例の臨床的検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会の全国年次学会	池田愛紗美、山口建、山村幸、髙倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、高尾由美、髙倉賢二、小西郁生	子宮筋腫術後5年目に背部腫瘤を来した良性転移性平滑筋腫の1例	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会の地方会及び分科研究会	山口　建	子宮内膜症と卵巣明細胞癌	子宮内膜症 若手医師セミナーin米子	米子	2018.10.27	2018.10.27 ～ 2018.10.28
国内学会の地方会及び分科研究会	池田愛紗美、山口建、山村幸、髙倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、安彦郁、高尾由美、髙倉賢二、小西郁生	卵巣がんにおける術前の血液学的検査所見と予後に関する検討	第19回産婦人科手術療法・周術期研究会	京都	2019.3.16	2019.3.16

□ 投稿論文など

分類	著者（全員）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文著述	Konishi I.	Basic principle and step-by-step procedure of abdominal hysterectomy: Part 2 In: Precision Surgery in Obstetrics and Gynecology	Surg J,	DOI: 10.1055/s-0038-1676467		pp1-12	Hiramatsu Y, Konishi I, Sakuragi N, Takeda S,	Thieme Medical Publishers, New York, USA	2018
邦文著述 （学会誌・学術専門誌）	小椋 恵利, 住友 理浩, 高倉 賢人, 中木 絢子, 川村 洋介, 和田 美智子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	分娩後17時間半経過してから発症した腟外陰血腫に対し経カテーテル的動脈塞栓術が有効であった1例	日本周産期・新生児医学会雑誌	54	1	140-143			2018
邦文著述 （学会誌・学術専門誌）	佐々木 愛子, 左合 治彦, 吉橋 博史, 山田 重人, 三宅 秀彦, 鈴森 伸宏, 高田 史男, 増崎 英明, 平原 史樹, 久具 宏司, 小西 郁生	日本における出生前遺伝学的検査の動向1998-2016	日本周産期・新生児医学会雑誌	54	1	101-107			2018
邦文著述 （学会誌・学術専門誌）	関 典子, 平松 祐司, 小西 郁生, 正岡 直樹, 増山 寿, 寺尾 泰久, 田中 京子	血栓症　術後管理	産婦人科手術	29		105-108			2018
邦文著述 （学会誌・学術専門誌）	田中 京子, 平松 祐司, 増山 寿, 正岡 直樹, 寺尾 泰久, 小西 郁生	血栓症　術前管理	産婦人科手術	29		97-103			2018
邦文著述 （学会誌・学術専門誌）	吉水 美嶺, 濱西 潤三, 近藤 英治, 伊尾 紳吾, 千草 義継, 谷 洋彦, 松村 謙臣, 小西 郁生	当院における過去35年間の妊娠絨毛性腫瘍の検討	産婦人科の進歩	70	1	1-10			2018
英文著述	Basu P, Mukhopadhyay A, Konishi I.	Targeted therapy for gynecologic cancers: Toward the era of precision medicine.	Int J Gynaecol Obstet	143 Suppl 2		131-136			2018 Oct
英文著述	Inayama Y, Hamanishi J, Matsumura N, Murakami R, Abiko K, Yamaguchi K, Baba T, Horie K, Konishi I, Mandai M.	Antitumor Effect of Nivolumab on Subsequent Chemotherapy for Platinum-Resistant Ovarian Cancer.	Oncologist	23	11	1382-1384			2018 Nov

英文著述	Kurata Y, Kido A, Moribata Y, Kameyama K, Minamiguchi S, Konishi I, Togashi K.	Differentiation of Seromucinous Borderline Tumor from Serous Borderline Tumor on MR Imaging.	Magn Reson Med Sci.	17	3	211-217			2018 Jul 10
英文著述	Kameyama KN, Kido A, Himoto Y, Moribata Y, Minamiguchi S, Konishi I, Togashi K.	What is the most suitable MR signal index for quantitative evaluation of placental function using Half-Fourier acquisition single-shot turbo spin-echo compared with T2-relaxation time?	Acta Radiol	59	6	748-754			2018 Jun
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	小西 郁生	【婦人科がん（第2版）-最新の研究動向-】序文 Precision Medicine の展望	日本臨床	76巻増刊2		1-7			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	濱西 潤三, 小西 郁生, 万代 昌紀	【婦人科がん（第2版）-最新の研究動向-】卵巣がん　卵巣癌の治療　免疫チェックポイント（PD-1）阻害薬	日本臨床	76巻増刊2		669-675			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	越山 雅文, 松村 謙臣, 小西 郁生	【婦人科がん（第2版）-最新の研究動向-】卵巣がん　卵巣癌の診断　卵巣がん検診	日本臨床	76巻増刊2		546-551			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	山口 建, 松村 謙臣, 万代 昌紀, 小西 郁生	【婦人科がん（第2版）-最新の研究動向-】卵巣がん　卵巣癌の発生　子宮内膜症関連卵巣癌における分子生物学的な違い	日本臨床	76巻増刊2		506-511			2018
英文著述	Yu Matsuzaka, Ken Yamaguchi, Koki Moriyoshi, Yumi Takao, Kenji Takakura & Ikuo Konishi	Primary retroperitoneal squamous cell carcinoma: a case report with review of the literature	First Online	DOI: 10.1007/s13691-018-00354-2					23 January 2019